

令和 7 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	近鉄大阪線沿線のまちづくり事業が地域にもたらす効果に関する研究
担当部署	交通戦略室

研究概要	<p>近鉄大阪線沿線においては、狭隘な道路が多く、市街地の更新が遅れているなど、地域の安全安心な暮らしや円滑な経済活動に課題を抱えている。</p> <p>市では当該エリアにおけるまちづくりの検討を実施しており、まちづくり事業を通して長瀬駅、弥刀駅周辺地域の活性化を目指している。</p> <p>検討したまちづくり事業を推進するために事業効果を数値化し、認識共有することが今後求められる。</p> <p>本研究では、近鉄大阪線沿線で実施するまちづくり事業が地域に与える効果を人流データの分析考察を行った後、そのデータを活用した社会的便益の計測を実施した。</p>
研究成果	<ul style="list-style-type: none">・ 人流データの解析により、近鉄大阪線長瀬駅と弥刀駅における来訪者及び滞在者数に関するデータを得られた。・ 時間帯別の来訪者数及び滞在者数に関するデータを得られた。これにより市が考える移動特性に根拠を持たせることができた。・ 人流データの解析により、社会的便益を測定することができた。
今後の活用	<ul style="list-style-type: none">・ 研究成果を関係者へ共有することで、まちづくりの推進につなげていく。・ 本研究に留まらず、今後も近畿大学と連携してまちづくりの具体化に向けた検討を進めていく。